

平成22年度 第三回うらやす市民大学運営委員会 議事要旨

日時 : 平成22年7月15日午後3時30分～5時15分

場所 : うらやす市民大学受講室

【出欠状況】

出席 : 古在委員長、山内副委員長、宮崎委員、阪本委員、高橋委員、杉村委員、
山本委員、東委員、武田委員、中山委員、伊藤委員 (11名)

欠席 : 織戸委員

事務局 : 岩波、金子、一戸、林サポーター、仲澤サポーター

【資料】

資料1 : 平成22年度後期授業科目及びシラバスについて

資料2 : カリキュラム検討部会の検討状況

資料3 : 平成22年度 第二回うらやす市民大学運営委員会 議事要旨

参考資料1 : 平成22年度前期受講状況一覧

参考資料2 : 浦安市の各種媒体接触調査に関する結果報告

参考資料3 : 「サマースクール」のご案内、グリーンサポーター通信第1号、

C a f e B r e a k J u n e 2 0 1 0

1. 平成22年度後期授業科目及びシラバスについて

事務局より、資料1を基に次の報告があった。

- ①共通科目を除く一般授業科目は、11科目としたい。
- ②授業期間は、11月中旬～3月末までの4カ月半の設定とする。
- ③「うらやすから健康づくりを考える」と「うらやすから「超・経済学」を考える」のシラバスは、現在調整中。
- ④上期授業科目「うらやすの介護ボランティアをつくる」は講師の日程調整が難しい事、「うらやすに介護のいない健康社会をつくる」は、当初より年1回の開講予定だったことから下期は開講できない。

報告を受けての意見・議論は次のとおり。

*シラバスの改善について

- ①初回にコーディネーターが、授業科目の目的と各コマとの繋がりについて説明した方が良いと思う。シラバスにも反映したほうが良いが、1科目1頁で収まるか分からない。また1頁で納める必要が有るのか？

事務局より：予算上、1科目1頁で収まるシラバスでお願いしたい。

- ②既に受講した学生（修了生）の意見・感想を記載したらどうか。

事務局より：参考資料3のCafé Breakの要約版を募集案内の1頁に載せる案も有る。

- ③修了生の声をホームページに載せる事を検討して欲しい。

事務局より：写真の掲載を含め検討する。また募集案内にコーディネーターの写真を載せることも検討したい。

④シラバスの内容があまり希薄なものは、書き足すようにしてほしい。

⑤募集案内の前文（学長挨拶）、2期続けて同じ文章が載っているが、見直す予定は？

委員：前文は、毎回変える必要は無いのではないか。

学長より：検討したい。

*定員について

①「うらやすから「超・経済学」を考える」の定員25名は、先生の希望か？

事務局より：グループでの討議などによる授業を進めており、多人数だと満足な討議が出来ないなど、双方向の授業をおこなっていく上で支障が出ている。

②実際に授業を行うと25名と40名では、雰囲気が異なり双方向になりづらい。

「うらやすから日本と世界を考える」は定員40名だが、大丈夫か？

副委員長より：定員40名だが実際には35名程度だと思う。擬似的双方向授業は可能だと考えている。

*授業科目の名称について

①基本的には、「考える」と「つくる」で良いと思う。

②「うらやすで園芸を通した幸せ社会を考えるⅡ」のⅡの意味は？

事務局より：パート2のⅡの意味です。

2. カリキュラム検討部会の検討状況

事務局サポーターより、資料2を基に次の報告があった。

①9月末までの報告書提出目標で活動中。

②大学の目標を「協働に資する人材育成」、また学制を通年制とする2つの原則を確認。

③年間総コマ数を250コマとした。

④現在新分野の授業科目を検討中。

報告を受けての意見・議論は次のとおり。

①委員の皆さんは、ほんとうに頑張っている。

協働については、具体的にどのような事が求められているのか、行政側の問題提起と市民サイドの要望を突き合わせて考えてみたい。

協働に向けて各科目がどのように「繋がる」のか、ハッキリ分かるような名称を考えたい。

②年間10回で終了する、といった授業のアプローチも有ると思う。

③問題別でなく、スキルアップを目的としたコーディネーター養成講座も必要だと思う。

④例えば地域コーディネーターのような、リーダー養成は重要だと思う。

⑤浦安市民は、知識・経験は十分に有るので、スキルを延ばせば良い。

⑥学生として種々の授業を受けていると、共通した部分を感じると思う。科目の壁を越えて、こういった共通部分を再編して新科目にするのも1つのアイデアだと思う。

3. 浦安市の各種媒体接触調査に関する結果報告

事務局サポーターより、参考資料2を基に次の報告があった。

- ① 新入生を対象に、日頃どのようなメディアに接触しているかアンケートを取った。
- ② 市の情報の主たる源は、広報浦安であることが確認された。
- ③ 今後は、広報公聴課と連携を取り、市のweb調査システムなどを活用して大学の広報活動を行っていく予定。

報告を受けての意見は次のとおり。

- ① 一般の方々に大学ホームページ（HP）を見てもらうには、大学のHPを市のHPの上位に載せてもらう必要が有る。
- ② 大学HPをより多くの一般の方々に見てもらうことが重要だと思う。
- ③ 何を大学HPに載せるのか、参考資料2、3まで載せるのか。どこまで市民の意識を吸い上げるのか。

4. 事務連絡

事務局より、参考資料3を基に次の連絡があった。

- ・ サマースクールを8月30日～31日 1泊2日で開催。
- ・ グリーンサポーター活動を開始。
- ・ Café Break を創刊
- ・ 終了書のデザインを学内公募したが、応募は無し。前回と同じ終了書をなる見込み。
- ・ 「全学懇親会」9月26日（日）16時～ 鉄鋼会館で開催。

報告を受けての意見は次のとおり。

副学長より：修了証については、千葉大学の学生からの提案が届いている。

学長より：修了証については、提案されたもので交付できるように調整を進めてほしい。

5. その他意見

委員より次の意見が述べられた。

- ・ 授業終了後、出席簿とアンケートを兼ねている受講票を書いている。
 - ・ この受講票は記名式なので、講師等関係者に対して遠慮が入り、率直な意見を書きづらいのではないか。
 - ・ 出来たら、受講票を回収後、記名部分を切り離して、関係者にコピーしてほしい。
 - ・ 多くの受講生から似たような意見を聴いている。
- 事務局にて、早急に対応を検討することとなった。

6. 次回日程について

- ・ 9月2日（木）15時30分～
- ・ うらやす市民大学

以上